

2009年4月30日

各位

オリックス証券株式会社

「先物・オプション取引」必要証拠金引下げのお知らせ

～ 従来よりも少ない証拠金でお取引が可能に ～

オリックス証券株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：北山 久行）は、2009年5月15日（金）のイブニングセッション（16:30～）から、先物・オプション取引の必要証拠金を引下げます。

オリックス証券では、「日経 225 先物」および「日経 225 オプション（売建）」を取引する際、取引所が公表するプライス・スキャンレンジの 1.2 倍の証拠金（「ミニ日経 225 先物」は、「日経 225 先物」の 1 枚あたりの必要証拠金の 1/10）が必要でした。今回の引下げにより、「日経 225 先物」および「日経 225 オプション（売建）」の必要証拠金はプライス・スキャンレンジの 1.0 倍となります。したがって、改定前よりも少ない証拠金でお取引いただけるようになり、投資資金効率がさらに高まることとなります。

オリックス証券は、お客さまの資金効率を高めることにより投資機会の拡大をサポートし、資産運用のパートナーとしてご満足いただけるよう努めてまいります。

■ 実施日

2009年5月15日（金） イブニングセッション（16:30～）から

■ 改定内容

	1枚あたりの必要証拠金 ※1	
	改定後	従来
日経 225 先物 全限月（買建・売建）	プライス・スキャンレンジ× 1.0 （万未満切り上げ）	プライス・スキャンレンジ× 1.2 （万未満切り上げ）
ミニ日経 225 先物 全限月（買建・売建）	日経 225 先物（プライス・ スキャンレンジ× 1.0 ）の 1/10	日経 225 先物（プライス・ スキャンレンジ× 1.2 ）の 1/10
日経 225 オプション 全限月（売建） ※2	プライス・スキャンレンジ× 1.0 （万未満切り上げ）	プライス・スキャンレンジ× 1.2 （万未満切り上げ）

※1 ポジションのネットティングにより、「売ポジション」と「買ポジション」のうち建枚数の多い方を基準に計算します。なお、ミニ日経 225 先物がポジションに含まれる場合は、数量を 1/10 としてカウントします。（売ポジション：先物の売建、コールオプションの売建／買ポジション：先物の買建、プットオプションの売建）

※2 「日経 225 オプション（買建）」は、従来どおり「概算受渡代金（買建代金＋手数料（税込）」が必要証拠金となります。

■ ご参考（1枚あたりの必要証拠金 計算例）

2009年4月27日（月）～5月1日（金）のプライス・スキャンレンジ（600,000円）をもとに計算した場合、先物・オプション取引の1枚あたりの必要証拠金は以下のようになります。

	1枚あたりの必要証拠金 計算例	
	改定後	従来
日経225先物 全限月（買建・売建）	600,000円	720,000円
ミニ日経225先物 全限月（買建・売建）	60,000円	72,000円
日経225オプション 全限月（売建）	600,000円	720,000円

■ プライス・スキャンレンジとは

金融商品取引業者が取引所に差入れる証拠金の額を求める際に使用する SPAN(R)※で使用する「リスクパラメーター」の1つで、原則として毎週見直しが行われ、大阪証券取引所より各週第1営業日に翌週適用分が公表されます。

※ SPAN(R)（スパン：The Standard Portfolio Analysis of Risk の略）はシカゴ・マーカントイル取引所（CME）が1988年に開発した証拠金計算システムで、世界主要各国の先物・オプション取引所で採用されているシステムです。

- | | |
|--------|---|
| ■商号 | オリックス証券株式会社 |
| ■登録番号 | 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第55号 |
| ■加入協会 | 日本証券業協会・社団法人金融先物取引業協会 |
| ■リスク説明 | http://www.orix-sec.co.jp/support/important/risk/forward.html |
| ■手数料 | http://www.orix-sec.co.jp/commission/forward/index.html |